

私立学校におけるクラスターの発生について（第1報）

令和3年4月30日（金）、本市内の私立学校において、感染対策を行っている中で、クラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・4月27日（火）に、学校の教職員1名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を実施したところ、翌日、陽性が確認されました。
- ・このため、同患者と接触の可能性があった教職員5名のPCR検査を実施したところ、4月29日（金）までに2名の陽性が確認されました。
- ・これを受けて、これらの患者と接触の可能性があった生徒60名のPCR検査を順次実施したところ、5月1日（土）までに6名の陽性が確認されました。

（ 4月28日結果判明：1名（4月29日公表）
4月29日結果判明：2名（4月30日公表）
4月30日結果判明：5名（5月2日公表、4名は市外の保健所から公表）
5月1日結果判明：1名（5月2日公表） ）

- ・患者については、宿泊施設で療養しています
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はありません。また、患者のうち1名を除いては県外への往来歴はありません。

2 患者概要

(1) 年代

区分	10代※	30代	40代	50代	計
職員	—	1	1	1	3
生徒	6	—	—	—	6
合計	6	1	1	1	9

※ このうち4名は、市外在住者のため本市患者に含めない。

(2) 居住地 広島市

(3) 症状 軽症